

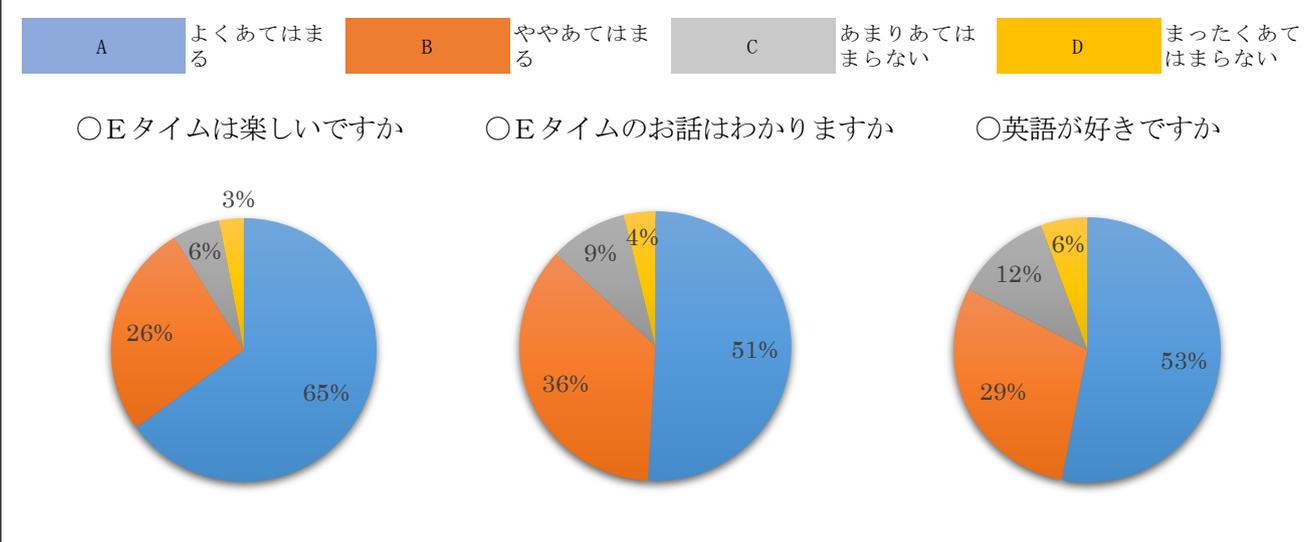
令和5年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

令和5年度に英語活動を行った児童に、英語活動についてアンケートを行ったところ、「Eタイムは楽しいですか」という質問に対し、「とても思う」、「そう思う」と回答した児童は、全体の91%でした。また、「Eタイムのお話はわかりますか」という質問に、「とても思う」、「そう思う」と回答した児童は、全体の87%でした。このことから、児童の多くは英語活動の動画視聴を楽しんでおり、それぞれの発達段階に合った英語を理解している児童が多いことがわかります。

また、「英語が好きですか」という質問に対し、「とても思う」「そう思う」と回答した児童は82%でした。このことから、児童の英語に対する抵抗感は低いと思われます。

【資料3】児童のアンケート結果



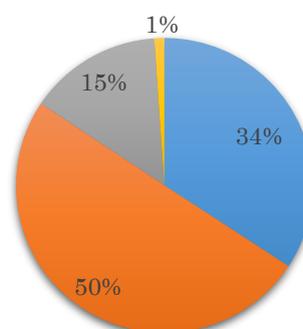
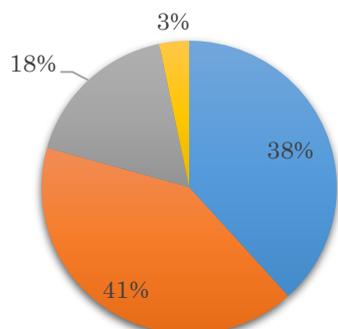
2 学校関係者評価結果

令和5年度に行った保護者向けのアンケートでは、「お子さんは英語活動に積極的に取り組んでいる」という質問に対して、「とても思う」「そう思う」と回答した方は81%、「学校は英語活動に積極的に取り組んでいる」という質問に対して「とても思う」「そう思う」と回答した方は84%でした。このことから、英語活動に対して保護者の方より一定の評価を得られていると考えます。

【資料4】保護者のアンケート結果



○お子さんは、英語活動に積極的に取り組んでいる ○学校は、英語活動に積極的に取り組んでいる



3 まとめ

資料3から、児童は日々の英語活動に楽しく取り組んでいることがわかります。また、令和5年度は、「英語が好きですか」の質問に「あまりそう思わない」「思わない」と答えた児童が18%となりました。引き続き、楽しいだけでなく、英語活動が好きな児童の育成に取り組んでいかなければならないと考えます。また、その他の「英語が好きではない」とする要因を引き続き精査し、その解決に向けて取り組んでいきたいと考えます。

資料4から、保護者の方々には、本校の英語活動に対して肯定的な意見が多く、一定の評価を得られていることがわかります。今後も本校の英語活動について児童の力となり、保護者の方の理解を得られるように、教育活動に取り組んでいきたいと考えます。